厚田村のものが奔別及び札幌産のものより抵抗性が弱く、奔別産と札幌産のもの間には有意な差異が認められなかった。2. 北海道産コロモジラミと東京産コロモジラミの抵抗性の比較：時間—死亡率回帰線及び中央致死時間により札幌産のコロモジラミと東京上野及び板橋産のコロモジラミとの pp'-DDT に対する抵抗性を比較したところ、札幌産のものは最も弱く、東京上野の浮浪者のものがこれに次ぎ、板橋養育院のものは最も抵抗性が強く、DDT では駆除困難なことがわかった。γ-BHC に対して札幌産のものは、東京のものより稍々弱い結果を得たが、東京の上野と板橋のもの間では抵抗性の差異が認められない。3. 東京板橋産（抵抗性系統）と東京上野産との F₁ の DDT に対する抵抗性：板橋産と上野産のものとを交雑して生じた F₁ について DDT に対する抵抗性を検討したところ、正逆いずれの組合せによる場合とも、中間的な抵抗性を示したところから、「抵抗性」は遺傳し、染色体に関係あるものと推察される。

〔予防衛生研昆虫〕

日本産蚊卵の形態について〔I〕 ヤブカ属、クロヤブカ属、ヌマカ属、ナガハシカ属、ナガスネカ属及びチビカ属の既知種について

加納六郎・熊田信夫・宮國俊雄

Kano, R., Kumada, N., & Miyakuni, T.:

Morphological studies on the eggs of the Japanese mosquitoes [I]

蚊の卵に関する報告は内外共に数が余り多くない。Anophelini の卵については、我國では大鶴正満博士等の詳細な報告があるが、Culicini のものは、故山田信一郎博士がキンバラナガハシカ、コガタクロウスカの卵を、石原保氏が東京市内の蚊8種の卵を、望月代二氏及び小林晴治郎博士がカラツイエカの卵を報告されているにすぎない。著者等は Culicini の卵の形態を調査し、此処に第1報として *Culex* 属以外の Culicini で採卵し得たものを報告する。方法は受精卵を有する雌を試験管内で個別飼育し、産卵せしめたものを Leeson の方法（5%ホルマリン+2%グリセリン+93%水）に従って保存した。鏡検は上記の液より取出した卵を落下光線で100倍と400倍で行い、更に表面の模様を詳細に見る爲に、卵を10%苛性カリ液で煮沸後卵殻をつぶし、ガムクロラルで封入し、之を位相差顕微鏡で見た。種によ

り卵殻の厚薄、褐色々素の濃淡があるので、それぞれ各標本に適した位相板（対物レンズ）を選んだ。今回下記17種に用いた位相板の種類は、D.H.; D.M.; 2-5 B-; 6 B-λ/3 の4種である。尚お Color phase の應用も目下検討中である。各卵はその大きさ、形、色、表面の模様によつて、属は勿論、種の鑑別をもなし得ることが明かになった。今回用いた材料は次の17種である。即ち、キンバラナガハシカ、キンイロヌマカ、フタクロホシチビカ、オオクロヤブカ、ハマダラナガスネカ、ヒトスジシマカ、ヤマダシマカ、ネツタイシマカ、シロカタヤブカ、トウゴウヤブカ、ヤマトヤブカ、キンイロヤブカ、セスジヤブカ、アカンヤブカ、エゾヤブカ、ヤマダエゾヤブカ、クロコガタヤブカ。尚お詳細は近く発表する。

〔東京医歯大医動物〕

富山市及び周辺地区の蚊に関する研究〔I〕 昭和27年夏季における蚊の発生状況並びに 動物嗜好性について 野村 幸男

Nomura, Y.: Studies on the mosquitoes in the city of Toyama and its districts

富山市及び周辺地区の蚊の発生状況、分布状況と、マラリア、日本脳炎の発病との関係を調査研究する目的を以て、この研究を開始し、聊か知見を得たので報告する。富山市及び周辺地区を田園地帯、商店街、台地、住宅街、山間地帯、海岸地帯、湿地帯の7地区に分類した。蚊は昭和27年5月1日より毎5日毎に採集し、同年9月28日迄に計31回採集した。次に動物舎に於ける採集は、小杉高等学校の畜舎にて施行した。即ち牛、馬、豚、鶏、山羊、緬羊、家兎、及び犬の畜舎にて前述の方法により採集した。幼虫の採集は7月1日より9月25日迄に毎10日毎に計7回実施した。幼虫棲息地として水田、池沼、水溜、下水、水槽、墓石、肥溜、竹洞等を選び以上の土地の幼虫棲息地より幼虫を持ち帰り翹化せしめて、雌雄及び種類を分類した。以上の研究方法によつて得たる結果を要約すれば、採集せる蚊は13,629匹で、次の5属15種に分類された。即ち多いものより述べれば、アカイエカ、シナハマダラカ、コガタアカイエカ、キンイロヤブカ、オウクロヤブカ、エセシナハマダラカ、トウゴウヤブカ、ヒトスジシマカ、ハマダラウスカ、トラフカクイカ、カラツイエカ、ムサシノハマダラカ、エゾヤブカ、ヤマトヤブカ、シロハシイエカであ